

地域公共交通体系の最適化の取組等について（協議）

1 趣旨

人口減少や高齢化社会が進展する中、暮らしを支える持続可能な地域公共交通の実現に向けて、今後、岡山県地域公共交通ビジョン（令和8年3月策定予定）との整合を図りながら、本市の地域公共交通計画（以下「交通計画」という。）を令和8年度末までに改定し、サービス・運行体系の最適化を推進する。

2 計画改定の主なポイント

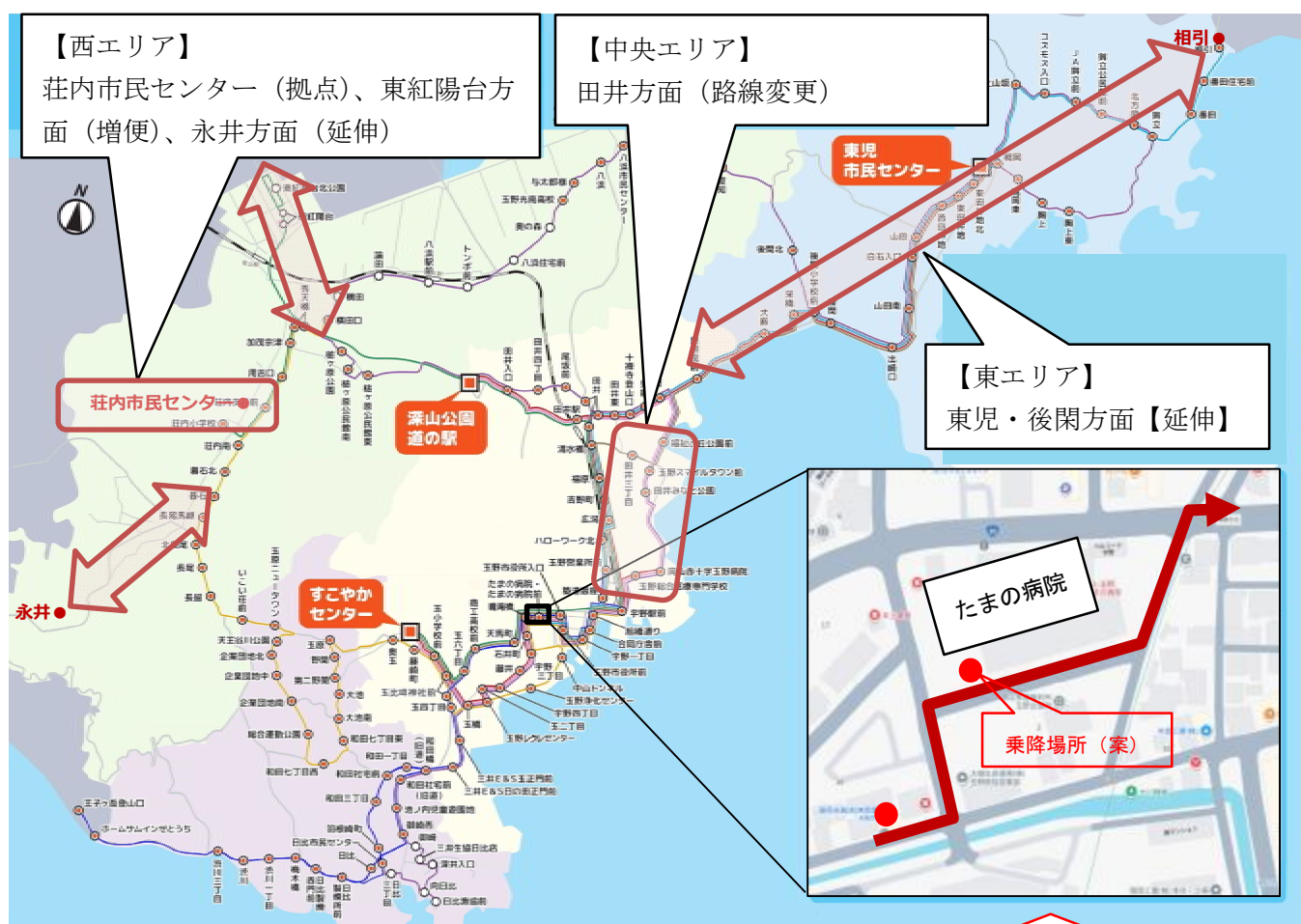
方向性	主な取組	
（１）広域交通の確保	①移動の軸となる鉄道ネットワークの確保 ②地域をつなぐバス路線の確保 ③地域の暮らしを支える航路の確保	・市民や観光客等の新たな利用者の掘り起こし ・地域の実情に応じた広域路線やダイヤ等の検討 ・離島における生活航路（デマンド型交通）の継続的な支援 ➤ 交通事業者と一体となった生活交通の維持 ➤ 利用促進を目指した観光分野との連携
（２）二次交通の確保	①まちづくりとの連携 ②交通結節点等の機能強化 ③地域内交通の充実	・まちづくりと一体となった公共交通ネットワークの構築 ・鉄道駅、乗継拠点等の幅広いニーズに対応した機能強化 ・地域の実情に応じた最適な交通手段の検討 ➤ シーバスの路線・ダイヤ等の最適化 【別図参照】 ➤ シータク乗り場の最適化
（３）多様な交通手段の確保	①既存交通のサービス向上	・地域組織との協働や他分野との連携による既存の交通サービスの最適化 ➤ 地域組織によるボランティア運送サービスの支援 ➤ スクールバス、福祉有償運送サービスなど様々な交通手段との連携
（４）ニーズに応じた利便性向上	①ニーズに応じた路線・ダイヤの充実 ②情報提供の充実	・定期的・継続的な現状把握 ・利用ニーズに応じた運行情報提供の充実 ➤ 【再掲】シーバスの路線・ダイヤ等の最適化 ➤ 路線名の変更、時刻表の改良
（５）地域公共交通の利用促進	①潜在的ニーズの掘り起こし	・わかりやすい情報発信 ➤ 「マイ・タイムテーブル（わたしの時刻表）」の周知、交通アプリ「バス・ビジョン」の活用促進

3 今後のスケジュール（案）

【交通計画の改定】

令和8年	1月	地域公共交通会議の開催（改定方針等）
	5月	地域公共交通会議の開催（路線・ダイヤの協議等）
	7月	地域公共交通会議の開催（骨子案、路線・ダイヤの決定）
	10月	◎実証実験運行開始（R9年4月以降、本格運行へ移行）
令和9年	1月	地域公共交通会議の開催（素案）
	2月	パブリックコメントの実施
	3月	地域公共交通会議の開催（最終案・決定）

【別図】シーバス路線の見直し【概要】（案）



- ・近年、段階的に、地域ニーズに応じた路線見直し（荘内～玉原方面、渋川方面）等を実施。
- ・今回も、地域ニーズへの対応と利用実態に合わせた効率的な運行を目指して検討するもの。（※上記以外の見直しも必要に応じて検討する。）

たまの病院ロータリーへの中型シーバス乗り入れは、一般車両や福祉車両が多く停車しているため、安全確保が困難と判断。

このため、現在、中型シーバスの路線変更での対応を協議中である。